



# 山陽スピリット ニュース No.27

2022(令和4)年3月15日

発行：学校法人 山陽学園 山陽スピリット推進室

## 山陽学園での学びと

### 「日々のおしえ」

山陽学園大学・山陽学園短期大学  
同窓会会長 渡 邊 朋 子



外国や日本を旅すること、演奏会やクラブ活動を行うことなど普通であった日々が、はるか昔のことのように感じる今日このごろです。

令和3年度卒業生の皆さま、ご卒業誠におめでとうございます。

2年前からの新型コロナウイルス感染症により、世界中の人々が苦しみや戸惑いを経験しています。私たち同窓会も、活動の縮小を余儀なくされています。「自由」という選択肢を取り上げられた気持ちになりますね。今、この地球という青く美しい星と人類が、様々な転機を迎える時なのかもしれません。前を向いて進んでいくその先には、きっと明るい未来が待っているはずです。

「アンという名の少女」という作品の中に「人生は短く、世界はあまりにも広い」という胸震わせる言葉があります。アンとは、皆さまがよくご存じの赤毛のアンです。とても響く言葉です。人生100年時代と聞くと長く感じますが、自分の人生を地球規模で考えると、ほんの少しなのです。

現在、自由に外国に行き来することはできません。しかし、視野を世界に広げることは自由です。卒業生の皆さま、様々なことが変わっていく今、アンのように明るく、想像力豊かに真っすぐに立ち向かっていく、向上心豊かなあなた方でいてください。

幾久しく、幸多かれ。

### 日々のおしえ

卒業生、在学生の皆さまにお伝えしたいことがあります。

山陽学園を卒業し、社会の扉を開き「これ使える」と思ったのが上代淑先生遺訓「日々のおしえ」です。「さわやかな挨拶 あかるい一日」で今日がはじまり、「あたえられた仕事は 50センチ向こうまで」で自分のテリトリーより先が美しく整い、気持ちよく仕事や作業が出来ます。悲しいことや辛いことがあったとき「はたらけはたらけ 苦労は心の糧になる」「辛抱第一何くそで」で、なぜか頑張れる。他にもポジティブなお言葉満載です。

生徒や学生であったときには、ピンとこなかった「日々のおしえ」。社会に出てから、この言葉がどんどん威力を増してくるのです。

県外の大学に通う山陽女子高等学校出身の娘も皆さまと共に卒業いたします。娘の部屋にも日めくりになった「日々のおしえ」を掛けています。娘に会いに行き、前に来た日にちが何日だったかわかるほど、めくられていませんが、社会人になったとき、私と同じような気持ちになってくれたら嬉しいなと思います。

山陽学園で学んだこと、出会ったことは、皆さまの宝物として、今後の生き方の指標となります。当たり前の日々に感謝し、明日の可能性に望みを託し、明るく前向きにこれからの時代へ共に歩んでまいりましょう。